



鷹巣中央公園「あじさいの丘交流会」（7月16日）

中央公園のあじさいは周囲の樹木に囲まれ、また水辺に植栽されていることから、日差しが強いときでもしっとりとした風情の花を鑑賞できるのが特徴です。蝉時雨を聞きながら、「あじさいの丘」周辺を散策してみませんか。涼味万点です。



阿仁の花しょうぶ祭り（7月4 - 13日）

しょうぶ園は昭和54年にオープン。今年も130種、約100万本といわれる紫や白、黄色など色とりどりのしょうぶが咲き乱れ、訪れる人の目を楽しませました。



大鳥毛

清少納言

▶ 阿仁開発センターからしょうぶ園までのコースで行われた「阿仁しょうぶウォーク」



伊豆の海



群山の雪

色鮮やかな大輪。趣もしつとりと

咲きにおうあじさい・しょうぶ ◆ 翠雲公園・鷹巣中央公園・阿仁しょうぶ園



花の鑑賞とイベントで一日を楽しんだ合川あじさいまつり

花の鑑賞とイベントで
にぎわ た各公園

市内では7月上旬から中旬にかけて、合川三木田の翠雲公園や鷹巣中央公園のあじさい、阿仁しょうぶ園の花しょうぶが見ごろとなり、市内外から大勢の人が鑑賞に訪れました。

各公園では、見ごろに合わせてイベントも開かれました。7月13日に開かれたのは「第16回合川あじさいまつり」。約3500人の市民らが参加し、見頃を迎えた9種約2500本の色鮮やかなあじさいの鑑賞と歌謡ショーやゲーム、流しそうめんなどの各種イベントを楽しみました。

130種約100万本ともいわれる花しょうぶが咲き乱れる阿仁しょうぶ園では、4日から13日まで「花しょうぶ祭り」が開かれたほか、10日には園内をコースの一部にした保健センター主催の「阿仁しょうぶウォーク」が行われ、参加者が花を鑑賞しながら心と体をリフレッシュしました。

また鷹巣中央公園では、市鷹巣婦人団体連絡協議会（中嶋喜代会長）が主催する「あじさいの丘交流会」が16日開かれ、会員らが昭和55年から植栽と手入れを続けてきた約1千本のあじさいを愛でながら憩いのひとときを過ごしました。

あじさいは、翠雲公園、鷹巣中央公園とも8月上旬までは楽しめそうです。